



ガン・ハクチョウの観察

観察時期（春・秋）

サロベツには3月下旬から5月上旬、9月から11月中旬に多くのガンカモ類が渡りの途中に立ち寄ります。春は南から北、秋は北から南の沼に徐々に移動します。



渡るコハクチョウ

観察場所（沼・牧草地）

ガンカモ類は夜の間外敵から襲われにくい沼でねぐらをとおり、日中は沼や周辺の牧草地で餌を採ります。稚内大沼、兜沼、振老沼（ふらおいぬま）から観察できます。パンケ沼に近づくことはできません。ねぐら周辺の牧草地でも観察できます。



ねぐら



牧草地

観察の際の注意点

ねぐらでは鳥を驚かさなよう（特に鳥と近い振老沼）
牧草地の観察の際には通行や農作業の妨げにならないよう気を付けましょう。
*兜沼公園ではキャンプ場営業時期の宿泊者以外の夜間立ち入りが禁止されています。

発行・お問い合わせ

NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク TEL: 0162-82-3950
北海道天塩郡豊富町字上サロベツ8662番地 野鳥情報→
サロベツ湿原センター内
このパンフレットはバードライフ・インターナショナル東京 (PCPD)の助成金で作りました



利尻礼文サロベツ国立公園
ラムサール条約登録湿地 サロベツ原野
Flyway site network Sarobetsu Wetland (EAAF151)





大沼 コハクチョウ・オオハクチョウ（春）マガン（春）



兜沼 オオヒシクイ（秋）マガン（春）



振老沼 オオヒシクイ（秋）マガン（春）



オオヒシクイ（亜種）マガンより大きい
秋に多い。ペンケ沼は国内最大の渡りの中継地



コハクチョウ 春はオオハクチョウより遅れて
渡ってくる 小河川や雪解けにより冠水した牧
草地、大沼に滞在 秋は足早に渡る



亜種ヒシクイ オオヒシクイより小さい。少数が
主に秋に飛来



カリガネ マガンより小さい
マガンの群れに少数が混じる



マガン 春に多い。5月連休には大沼に集まる
秋はオオヒシクイより遅れて渡ってくる



オオクチョウ コハクチョウより大きい
春にコハクチョウより早く渡ってくる 小河川
や雪解けにより冠水した牧草地、大沼に滞在



ハクガン 主に春のマガンの群れに少数が混じる
近年急増中



シジュウカラガン 春と秋に数羽がマガンの群れに混じる